



—ひつじの絵を持つ東宇治幼稚園児たち—

## 歴史を糧に新たな発展を

市議会議長 加藤 吉辰



市民の皆さん、明けましておめでと  
うございます。平成三年の輝かしい新  
春を迎え、市議会を代表し、謹んで新  
年のごあいさつを申し上げます。  
昭和二十六年二月一日に市制を施行  
しました本市は、本年、市制施行四十  
周年を迎えます。議会は住民の代表機  
関として、市民の皆さんの意思を市政に反映し、行政  
と相互に役割を果たしながら、市政の両輪の一翼とし  
て、今日まで市民の皆さんと共に歩んできました。  
本市は京都府南部の中核都市として発展してきてお  
り、昨年はカナダ・カムループス市と三番目の友好都  
市盟約を締結するなど、国際都市としても飛躍を続け  
ております。今日までの市民の皆さんの温かいご理解  
とご協力のたまものと、深く感謝申し上げます。  
本年も、京都みどりの祭典や、紫式部文学賞受賞式  
をはじめ文化都市にふさわしい数多くの事業が行われ  
ます。市議会では決意も新たに、二十一世紀を展望し  
たまちづくりに向け、議決機関として、市民の皆さん  
のご意見・ご要望を反映し、創意と工夫を重ねてまい  
りますので、一層のご支援とご協力を賜りますようお願い  
申し上げます。新年のごあいさつといたします。

市長 池本 正夫



明けましておめでとございます。  
市民の皆さんには、希望に満ちたすが  
すがしい新春をお迎えのことと、お慶  
び申し上げます。昨年は、カナダ・カ  
ムループス市との友好都市盟約の締結  
宇治橋架け替え工事・新庁舎建設工事  
の着工など、新しい時代を築くまちづ  
くりを進めることができました。心から厚くお礼申し  
上げます。  
本年は、市制施行四十周年の記念すべき年です。五  
月には本市で、京都みどりの祭典（第四十二回全国植  
樹祭）が開催されます。そして秋には、昨年創設いたし  
ました紫式部文学賞・同市民文化賞の受賞式や関連事  
業・イベントの開催のほか、各種スポーツ大会や文化・  
観光事業など、多彩な四十周年記念事業を繰り広げま  
す。また、JR六地蔵新駅の宇治市域内設置が決定し  
ましたので、平成四年春の開業に向け鋭意努力すると  
共に、現在、第三次総合計画の策定作業中であり、市  
政を一層計画的に推進する考えです。  
二十一世紀に向け、夢とロマンあふれるまちづくりに、  
本年も全力で取り組みますので、市民の皆さんの  
一層のご協力をお願い申し上げます。

### 新年のごあいさつ



# 宇治の40年



市制施行の日の式典

昭和26年3月1日に誕生した宇治市は、今年40歳を迎えます。40年の歩みの中にはいろんなことがありました。今回お話を伺ったのは、そんな思い出の1コマに登場した人たち。この8人の皆さんと、一緒にのぞいてみませんか、思い出のアルバムを——。



## 昭和53年—市民会館内に公民館を設置

市民会館・公民分館・集会所などでの教養講座やサークル活動は年々盛んになり、拠点となる公民館活動の専用施設設置への要望も高まりました。市では、53年、市民会館内に公民館を設置（現宇治公民館）。その後、木幡・小倉・中央・広野の各館を開設しました。



公民館設置前の人形劇サークルの活動52年、旧教育委員会庁舎2階



小坂恵美子さん（59歳）

小倉町西山

昭和52年ごろ、若い母親の育児ノイローゼが社会問題になっていました。それで子育てについての講座が開かれることになったんですが、子どもを預ける場がないと、お母さんは安心して参加できません。そのころわたしは公民館活動をしており、担当の職員から相談を受けて、以前参加していた人形劇サークルの仲間を声を掛けました。すると、ボランティアで保育をしようという人が22人も集まったんです。中には、それまで自転車に乗れなくて、そのために練習した人もいました。また、市や議会に陳情にも行きました。みんな、それこそ手弁当で頑張ったんです。今、公民館に保育室があるのは、その時の努力のたまものという自負はあります。

公民館は学習を通じて、新しい仲間と出会う場。どんどん利用すべきだし、その成果を発表して地域社会に還元したり、新しい人も参加しやすい環境をつくっていかねばと思います。

## 昭和46年—新地名“南陵町”できる

昭和30年代後半以降、宅地造成が盛んになり、人口が急増しました。46年に南陵町ができた後、明星町・名木など、次々と新地名が生まれました。



昭和34年



平成2年



中 貴昭さん（58歳）

南陵町2丁目

昭和48年、まだ周りが造成中で土もむき出しのところ引越してきました。49年ごろ、「小倉方面へ行き来しやすいよう、国鉄（現JR）奈良線に地下道を」と市や国鉄に要望するため、住民がまとまりましてね。それがもとで、50年に自治会が発足したんです。この地で、共に新しいまちを築いていこうという情熱が、みんなにあったんです。

要望は、跨線橋という形で53年に実現。その後も何か問題があると、納得するまでみんなとことん話し合ってやってきました。おかげで、まとまりでは他に誇れる自治会ができたと思っています。この協力体制は、次の世代にも引き継いでほしいですね。

## 昭和26年—市制施行

3月1日、宇治町・榎島村・小倉村・大久保村・東宇治町が合併し、宇治市が誕生。当時の人口は約3万8千人、世帯数は7千9百戸でした。



市制施行のころの市庁舎



中村金一さん（75歳）

宇治又振

市制施行前、わたしは宇治町の収入役でした。合併まで余り時間に余裕がなく、事務の引き継ぎや書類の整理が大変だったのを覚えています。市役所の庁舎は旧宇治町役場。増築したうえ、議場も事務室にあてられました。庁舎は狭くても、職員には、市になった誇りとみんなでしっかりやっていこうという気持ちがあったので、和やかな雰囲気でした。

しばらくして初代の監査委員事務局長になったのですが、町村時代の旧例を改めて「市」の財政の土台を固めるため、かなり厳しくやりました。4、5年かかって、やっと市らしい体制ができたと思いましたね。

今にして思うと、仮にこの地域が宇治市として合併せず京都市に編入されていたら、独自の事業もできず、今日のような発展はなかったでしょう。

## 昭和39年—東京オリンピック聖火通る



雨の中力走する山村さん

日本中が沸き返った東京オリンピック。全国を巡った聖火は、9月29日、市民から選ばれた走者の手で宇治市を通り、熱狂的な歓迎を受けました。

山村 稔さん（45歳）

広野町西裏

当時、わたしは教師を目指して浪人中。しかし、高校時代に長距離で府下1、2の記録を持っていたので、聖火走者に選ばれたようです。陸上選手としての目標はオリンピックだったので、すごく感激しました。それからは、トーチの代わりに、一升瓶に砂を入れて持ち、腕の角度を一定に保つ練習をしたんです。

本番では、雨の中、国道24号線（現府道城陽宇治線）の城陽町（現城陽市）との境界から城南高校前まで走りました。走りながら、オリンピックに出られなくても、教師になり選手を育てていこうという



9時まで宿舎に詰める毎日。大変でしたが、娘のような年ごろの選手はかわいくて、やる気が出ました。支給される食事だけでは単調なので、たるを持ち込んできゅうりを漬けたり、おなべを持ち寄って水炊きをしたり。横断幕を作って試合の応援も。選手たちも「おばちゃん、おばちゃん」と慕ってくれて、帰る時には泣く子もいたほど。1番長く滞在した北海道チームからは、大会後すぐ、手紙と一緒にじゃがいもと大根が山ほど送られて来ました。その後も修学旅行で京都にきた選手と会ったり、翌年の国体で激電を打ったり、交流は続いています。国体のよさは、こんなところにあるんですね。



## 平成2年—子どもたちがカムループスを親善訪問

スリランカ・ヌワラエリヤ市、中国・咸陽市に続いて平成2年7月に友好都市盟約を結んだカナダ・カムループスを、8月、宇治文化少年団の一行63人が訪問。交流を深めました。



交流会でこの作り方を教える



牧 ひろ子さん (17歳)  
圭一くん (10歳)  
宇治蔭山



ほくがホームステイした家はブールがあって、とても大きかった。14歳の男の子がいて、背がすごく高かった。言葉は通じなかったけど、身振りとかで竹とんぼを教えてあげたりして、一緒に遊びました。友だちができたし、行ってよかったです。(圭一くん)

\*

ホームステイ先の16、17歳の2人の女の子は、一見すごく大人っぽいのですが、音楽やおしゃれなど、話題は一緒なんです。パーティや交流会では、いい加減な英語では通じなくて、和英辞典を引きながら話したけれど、すごく楽しかった。別れに、ステイ先の人から、「友情」を意味する黄色いバラをもらった時は、感激して泣きそうになりました。

日本人は「外国人」を特別な目で見られるけれど、国は違っても同じ人間。これからは「国際交流」を難しく考えず、外国の人とも、構えないでごく普通に付き合っていければいいと思います。(ひろ子さん)

# 思い出アルバム

みんな緊張の余り、歌が途切れてしまった、なんてこともありました。

楽しかったのは定期演奏会。まだ文化センターがなく市民会館でやっていて、殺風景な舞台を自分たちが作った花で飾ったりしました。始まる前の緊張感がよかった。中学になるとクラブや受験で大変な時期もあったけど、音楽が好きだったし、何より友だちがいたので、卒団まで頑張りました。

合唱団では普段の練習以外に厳しい夏の合宿もあり、自主性や積極性が身についた気がします。卒団後も、市民混声合唱団や京都国体の合唱隊に参加したりしたんですよ。

## 昭和63年—京都国体

「新しい歴史に向かって走ろう」のスローガンの下に繰り上げられた第43回国民体育大会——「京都国体」。市民の皆さんのご協力で、大成功のうちに幕を閉じました。



谷岡千代子さん (55歳)

菟道門ノ前

三室戸学区体育振興会の役員をしていて、少女(高校生)ソフトボール4チームの宿泊のお手伝いを頼まれました。選手・関係者は合わせて100人。不安でしたが、お母さんばかり21人を集め、宿舍となる空いた寮のカーテンを1枚ずつ洗うなど、準備をしました。

実際に国体が始まると、交代で、朝4時から晩の



## 昭和54年—宇治市少年少女合唱団結成

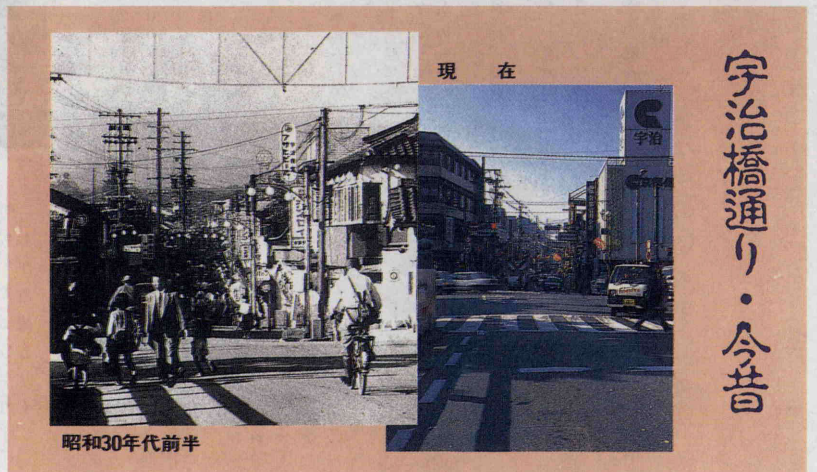


国際児童年記念事業として発足した合唱団。小学4年生から中学3年生を対象とし、合唱活動を通じ情操豊かな少年少女を育ててきました。

矢野純子さん (22歳)

五ヶ庄三番割

小学5年の夏、「市政だより」で結団を知って応募。毎週土曜日に市民会館などで練習したんですが、初舞台では、



昭和30年代前半

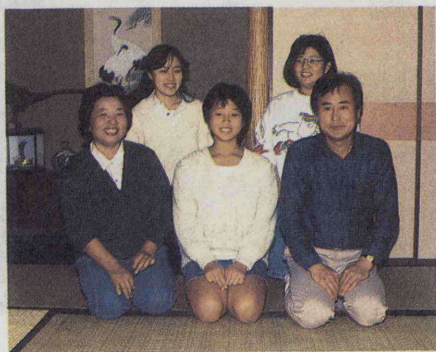
現在

宇治橋通り・今昔





前列右から、四朗さん・亜貴子さん・洋子さん  
後列同じく、由希子さん・真紀子さん



いとおつしやる長女の出布子さん(三)、子どもが大好きで、保母を目指して勉強中の二女の真紀子さん(二)身長は学年で一番、地域バレーボールクラブのホープ三女の亜貴子さん(二)。皆さん、はつとつとした活動的なご家族です。

宇治市は、京滋バイパスができるなど、便利で住み良い所ですね。あとは近くに派出所があれば安心な子ですが、この意見も、子どもたちは、やがて親の手から離れていきます。あと数年しか、みんなと一緒に過ごさせません。今を大切にしたいですね」とおっしゃるお母さんの言葉が印象的でした。

今年も良い年でありますように。

アウトドアライフを満喫する  
いきいき家族

あささんも、「そのころは孫たち遊び相手がなくて、つかりおばあちゃん子になつてしまいました」と、お孫さんを見て二ツコリ。

その和美さんは、保母になられて四年目。仕事の面白さとし難しさがつとわかつてきた。その分責任が重くなつたけれど、頑張ります」と元氣一杯。栄養士一年生の二女・信子さん(三)はテニスが好きで、人との出会いを大切にしていきたい」と抱負を聞かせてくださいました。

お年ごろの娘さん二人を中心に弾む会話の中に、家族の温かさとともに、炭山への深い愛着が感じられました。

今年も良いことがありますように！

大切なものは家族のふれあいと  
炭山の自然

お正月の

おもてなしクレープ。



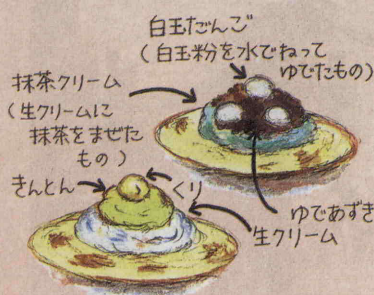
何かと来客の多いお正月。ちょっとしたおもてなしに、クレープを焼いてみませんか。おせち料理の常連・栗さんとんや作り置きゆであずきなどを、生クリームと一緒に包んで、きんちゃくのようにしげれば、おしゃれなお菓子のでき上がり。かわいいうりぽんで口を結べば、子どもたちも喜んでくれそうです。

● 材 料  
(15~20個分)

小麦粉（薄力粉）：100<sup>g</sup>　卵：2個　砂糖  
：大さじ1　塩：少々　牛乳：300<sup>cc</sup>　無  
塩バター：10<sup>g</sup>　サラダ油・バター：適宜  
好みて生クリーム、栗きんとん、ゆであずき  
白玉だんごなど

●作り方

- ① 小麦粉を一回二回ふるう。
- ② 大きめのボールに砂糖、塩、牛乳五〇ccをいれ、泡立て器でかき混ぜる。
- ③ ①を二回に分けて加えながらよく混ぜる。
- ④ 残りの牛乳を少しずつ加えながら混ぜ、ラップやふきんでボールを覆って、約一時間そのまなべにさせておく。
- ⑤ 小さなべにサラダ油とバターを入れ、中火にかけて溶かす。
- ⑥ フライパンを熱して無塩バターを溶かし、少し色がついたところで④に加える（バターの風味を加える）。
- ⑦ フライパンをきれいに紙でふき、⑤をガーゼなどで薄く塗る。
- ⑧ ⑥の生地を混ぜながら、適量を玉じやく



⑨ 中火よりやや弱めの火加減で焼き、表面が乾いて裏面が色よく焼けたら、周囲をはがして裏返し、サツと火を通す。

⑩ 焼き上がったクレープで、栗きんとん、あずき、白玉だんご、生クリームなど、好みのものを包み、きんちゃくのようにしばってきれいなリボンなどで口を結ぶ。